より安全で明るく元気なまちづくり

大好きな"菅"を心のふる里に

菅町会だより

川崎市多摩区菅２－２－25
発行所　菅町会
発行人　濃沼健夫
編　集　広報部
電　話　044-944-0445

菅町会

最新、大切な情報をお届けします
菅町会 公式アカウント
http://sugechoukai.com
Facebook: 菅町会
Twitter: @sugechoukai
「菅町会QRコード」または「検索」から登録してください

「菅町会だより」に寄せて

地域コミュニティーに町会の役割は重要

多摩区長
藤井　智弘

多摩区長の藤井智弘でございます。

菅町会の皆さまには、日頃から住みよいまちづくりの推進にご尽力いただいておりますとともに、防災、防犯、防火や福祉、環境美化、広報など多方面にわたり、市政、区政へのご協力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

一昨年より続く新型コロナウイルス感染症の流行は、密閉・密集・密接の3密を避けるため、地域行事やイベントの中止・延期など、様々な面で私たちの生活に影響を及ぼしております。しかしながら、徐々にではありますが感染対策を施しながら、様々な活動も再開してきております。

コロナ禍の中、改めて町会活動を考えて見ますと、町会は地域社会が抱える様々な課題を解決している団体であるという思いを強くしております。近年は便利なサービスが増え、隣近所の方に頼み事をしなくとも、とりあえずの日常生活には困らないようになってきております。生活様式の多様化もあり、自分の周りの地域にはあまり関心を持たない人も増えてきているようです。今後、こうした傾向が進んでいきますと、地域住民の孤立化などにより、地域の安全が損なわれる危険性もございます。

地域における子育て支援、災害時の一人暮らしの高齢者等の安全の確保など、地域の方々と行政が力を合わせて取り組まなければ解決できないことがまだまだあります。町会は地域コミュニティの要であり、個人が地域の中で生活するためにも、その役割は益々重要になっています。

先日も2年ぶりに市内統一美化活動が行われ。地域の清掃活動に多くの方々が参加されている様子を見させていただきました。皆様のご努力により、道路や公園の雑草刈り、側溝の清掃など、皆さまのまちをきれいにしたいというお気持ちと取り組みにより、地域がきれいに住みよくなっていることに改めて感謝申しあげます。

市内統一美化活動の清掃作業（菅馬場3丁目）

また、近年は地球温暖化により、大雨が多くなるなど、風水害への対応がより重要となっております。9月には多摩川緑地および菅多目的広場で、菅町会の合同防災訓練が行われ、多くの方々が参加され、行政としても多摩区役所や多摩消防署等が訓練に参加させていただきました。菅町会はエリアが広いため、自主防災組織も18地区に分かれており、地区ごとの訓練のほか、本部会場での訓練も行うなど、規模に合わせた多様な活動をしていただきました。防災への取り組みにつきましても、引き続きよろしくお願いいたします。

菅町会におかれましては、来年度に創立70周年を迎えられると伺っております。心からお祝いを申しあげます。

菅の昔からの魅力である梨畑などは、以前より少なくなっているようですが、子之神社や薬師堂、旧フルーツパークの農業技術支援センター、稲田公園や菅の獅子舞など、魅力ある地域資源がたくさんございます。

また、コロナ禍の中でも新たな活動に取り組まれ、デジタル化といった観点では、従来からのホームページの運営に加えて、町会事務のオンライン化も開始されていると伺っております。今後も時代に即した先進的な取り組みを行っていただけるよう期待しております。

川崎市といたしましても、町内会・自治会の公益的な事業活動を支援するための「町内会・自治会補助制度」を昨年度から開始しており、菅町会でも活用いただいているようです。今後も制度を活用いただき、活発な活動の一助になれば幸でございます。

消防団菅班の可搬ポンプによる放水訓練（本部会場）

多摩区は今年度、区政50周年を迎えました。4月30日には菅町会の皆さまをはじめ、区内の多くの方々にもご尽力をいただきまして、「多摩区制50周年記念式典」を開催することができました。この10月には、新型コロナウイルス感染症の流行により停滞している空気を少しでも明るく、未来輝くものにして行きたいと、50周年記念事業の一つである多摩区民祭が3年振りに開催されました。今後も区制50周年をお祝いする様々な記念事業を行っていく予定です。

いずれの事業も、地域の皆さまの特段のご理解とご協力なくしては、成り立つものではございません。私共も、皆さまと一緒に地域の発展に努めてまいりたいと考えておりますので、改めてご協力のお願いを申しあげたいと存じます。

今年の話題ではＮＨＫの大河ドラマに、菅仙谷にあった小沢城にゆかりのある稲毛重成が登場するなど、改めて地域への関心が高まっております。区役所としても、これまで稲毛重成を題材としたまち歩きの企画や、区役所でのパネル展の開催などタウンプロモーションに取り組んでおり、今後も地域の資源を活かした賑わいのあるまちづくりを進めて行きたいと考えています。

結びといたしまして、菅町会のますますのご発展と皆さま方のご健勝、ご多幸を祈念申しあげまして、菅町会だよりに寄せての挨拶とさせていただきます。

菅町会 山根・真鍋両副会長が 川崎市防犯・環境功労者として表彰される

山根副会長

多摩警察署・多摩防犯協会は6月10日、今年度の防犯功労者を表彰しました。稲田地区では菅町会副会長の山根潔さんが褒賞を受けました。菅町会が行なっている小学校児童の登・下校時の見守り活動や、年末の防犯防火活動の取り組みが評価されたものです。

また多摩区内でゴミの減量に取り組む「廃棄物指導委員」の功労者表彰が区役所で行われ、菅町会の真鍋るり子さんが、多摩区廃棄物減量指導員連絡協議会の松島洋会長、多摩区町会連合会の濃沼健夫会長から褒賞を受けました。川崎市ではゴミの減量化とリサイクル推進に向け、町内会などから推薦された指導員が地域や行政とのパイプ役を担って、普及啓発や指導を行なっています。菅町会の3Ｒの推進やゴミの減量化、資源ゴミの回収などの活動が評価されました。

真鍋副会長と表彰状

自家製麺　石臼挽き
おそば　やまきや
出前いたします
菅5-13-18　☎944-1213

hair make felice
TEL:281-5841［ご予約優先制］
営業時間:open9:00 定休日:毎週火曜日
多摩区菅2-9-1 グランベルジェ稲田堤2F

造園工事・設計・施工管理一式
㈱濃沼植木
お庭の手入れなどご相談ください
菅馬場2－1－18
TEL 044(944)2956
FAX 044(944)2963

やる気マンマン
元気にあそんで
みんななかよし！
学校法人　平山学園
菅幼稚園
多摩区菅2-9-1 ☎944-3277
http//www suge org/

特別寄稿

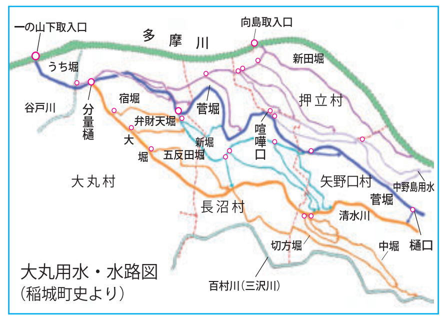
菅ばなし⑤

菅村と大丸用水

スケッチ散歩　望月雪桜

稲城の旧大丸村では古代を起源とする条里水田が広く存在し、一の山下で多摩川から取水する古「大丸用水」が大丸地域の条里水田に水を潤していました。また旧黒川村を水源とする百村川も小沢郷の坂浜村、百村村を流れ長沼村の条里水田地域に本郷用水として利用され、その後、当時丘陵沿いを流れていた多摩川に注いでいました。

戦国時代末期から江戸時代初期に、多摩川は大水により流路の北遷が起こり現在の流路に近くなり、その跡地に広い荒地が出現しました。幕府の新田開発の施策により、多摩川右岸の川崎領、稲毛領、府中領の各地区でも多くの水田が開発され、用水路が作られました。川崎・稲毛領のために二ヶ領用水が開削されましたが、ほぼ同時期に二ヶ領用水が利用できない上流地域で大丸用水が開削されたと考えられます。その地域は稲毛領登戸村、五反田村、上菅生村、菅村、世田谷領押立村、府中領中野島村、矢野口村、長沼村、大丸村で、その管理と運営について後ほど、「九ヶ村玉川用水組合」が作られました。



大丸用水・水路図
（稲城町史より）

菅をはじめとする稲毛地域への「稲毛用水」の取水堰は、当初は押立・大丸境の近くに残っていた旧多摩川流路への流入口跡から多摩川の水を取水していましたが、困難をきわめたため、享保9年（1724）に田中丘隅により二ヶ領用水と併せて大改修が行われ、旧多摩川を流れる残存川を用水幹線として統合された形の「稲毛用水」とよばれる水利組織となったと考えられます。

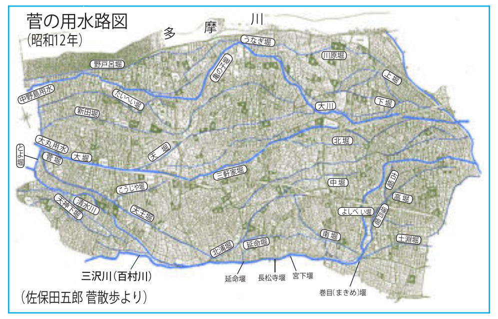
古「大丸用水」域と「稲毛用水」域とで「新大丸用水」とし「一の山下」を取水堰とする近年の大丸用水が成立しました。

取入口の一の山下では多摩川に長さ約百間（180ｍ）の取水堰を築き、せき止められた水は横幅2間（約3・6ｍ）の用水圦樋から取り入れられ分量樋に向かい、古大丸用水域と稲毛用水域とへ水を分配します。その分配比率は成立の事情を反映して、古大丸用水域に極めて有利な配分になっており、古大丸用水域では常に潤沢な水量があったといわれます。他方、稲毛用水域では水量が十分とはいえず、水を配分する分水点の各地で、分水量を巡る水争いが生じていました。

古大丸村用水域への用水は大堀と呼ばれ、大丸村南部を潤したのち長沼村、矢野口村を流れ菅村に向かいます。一方、稲毛用水域への用水は大丸村の東部で、菅堀と新堀に分水されます。新堀は長沼村中央部を横切るように流れ、矢野口村でまた菅堀に合流します。菅堀は長沼村の北部を迂回するように流れ、押立村の村境の喧嘩口とよばれる分水口で三つの流れに分かれます。北側の二流は中野島用水として菅村に入ります。南側が菅堀で途中で新堀と合流して矢野口を流れ村境の樋口（とよぐち）に達しいくつかの分水堀を派出します。

天王堀は菅堀より川底が低いため水が多く流れ込みました。その南には湧水が混じる清水川が流れ、城下の田では水に苦労しなかったという。

このようにいくつかの堀に分水された用水は、右図、昭和12年の用水路図に見られるように、さらに網目状に分かれて菅村の水田の全てを潤し、さらに下流の各村に流れました。



菅の用水路図
（昭和12年）
（佐保田五郎 菅散歩より）

二ヶ領用水の野戸呂取水口ができ、その利用が可能になった登戸村や五反田村は大丸用水組合から脱会しました。

大丸用水は規模が小さく菅堀に流れる水量が少ないため、水争い（水論）は各分水点でしばしば起こりました。菅・中野島は一番下流にあるので、毎年のように水不足に悩まされ、水の少ない時に菅では夜に堀を掃除して、杭を打って堰を作り田に水を引きました。それでも他の人が堰を切ってしまうので、田植えの頃は寝ずに番をしたそうです。

多摩丘陵に沿うよう流路を付け変えた百村川も水源としては期待できず、用水路の一つとして利用され、長松寺堰、宮下堰で北浦南部の田に水を送り、巻目堰で土淵堀、塚戸堀を分水して北上し、二ヶ領用水に流出しました。

菅堀（稲城市大丸親水公園）

〈参考：大丸用水長松寺堰の水論 菅野雪雄（あゆたか48号）〉

菅町会特別会員

（敬称略）（順不同）

- ㈱レック　稲田堤店
- 川崎信用金庫　稲田堤支店
- ㈱ニューヤヒロ稲田堤駅前店
- 岩城整形外科
- ㈱大伸
- アイランドメガネ　稲田堤店
- JAセレサ川崎　菅支店
- 不二家　稲田堤店
- ㈱日東
- ㈱京王ストア　稲田堤店
- 富士シティオ㈱FUJIスーパー稲田堤店
- ㈱東都不動産　稲田堤店
- ヤオキ商事㈱
- トヨタカローラ神奈川㈱多摩店
- ヤマト運輸㈱川崎多摩支店
- 学校法人　日本女子大学
- ㈱横浜銀行　稲田堤支店
- 日本テレビ放送網㈱生田スタジオ
- ㈱よみうりランド
- ㈲チャイルドランド
- ㈱ベネッセスタイルケアメディカルホーム ボンセジュール稲田堤
- ㈲多摩スバル販売
- ㈲ハラジマ
- ㈱ニチイケアパレス登戸
- コスモス・ぴあ・ハウス
- ㈱ライクケア フェリエドゥ稲田堤
- ㈱ミズモリ
- 特別養護老人ホームよみうりランド花ハウス
- ㈲佐野土地開発
- 関口内科医院
- ㈱田島電気
- 特別養護老人ホーム菅の里
- モンテッソーリ子どもの家はるるん保育園
- グループホームふぁいと稲田堤
- 稲田堤振興会
- 保育所くまのこ園
- 地域密着型特別養護老人ホーム 花ハウスすみれ館
- ㈲真鍋電設
- 社会福祉法人なごみ福祉会 なごみグループホーム パーラの家
- ひものの山安　川崎店
- ㈱らいふ らいふ・くつろぎ稲田堤
- ヒューマンライフケア 多摩グループホーム多摩の宿
- はなの舞　京王稲田堤店
- 原島歯科クリニック
- ヒューマンライフケア㈱菅仙谷の宿
- クラーチ・メディーナ稲田堤
- ㈱ホンダカーズ神奈川北川崎多摩店
- 清生土木㈲
- 銘酒庵じんべい
- ㈲丸晴工務店
- 青果山ちゃん　稲田堤店
- シンシア川崎ショートステイ
- ㈱日本アメニティライフ協会福寿かわさき多摩
- ㈱長谷エシニアウェルデザイン
- ㈲三添不動産
- Re・Ra・Ku　稲田堤店
- 前原医院
- ㈱冨士トラベル東京
- ㈱日本アメニティライフ協会花物語たま北
- ㈱日本アメニティライフ協会花織たま北
- ㈲山口土木
- 日照電子㈱
- たまっこ学童ホール
- スタディクス㈱
- ㈱東京レジャー
- 八紘管財㈱
- 美容室MIKADO
- mashka
- HEAT-UP
- ㈲金井石材店
- 川崎菅星ヶ丘郵便局
- ㈱濃沼植木
- 稲田堤郵便局
- にじいろ保育園稲田堤
- ㈱黒川土木
- ㈱ベストワークベストツアー多摩
- 第2くまのこ園
- ミモザ㈱ミモザ川崎稲田堤
- いなだ助産院
- felice
- 保険相談センター㈱ベスト
- ㈲山崎設備工業
- kukuiはり灸整骨院　登戸院
- 社会福祉法人はぐるまの会
- ㈱ホリデン
- ㈲赤神設備工業
- ハウステック㈱ピタットハウス稲田堤店
- 城南信用金庫　稲城支店

JAセレサ川崎［そ菜部］菅支部

菅の伝統野菜「のらぼう菜」を使った乾麺を開発・発売、菅中美術部がデザイン協力

JAセレサ川崎そ菜部菅支部（小嶋靖夫支部長）は、このほど菅の伝統野菜「のらぼう菜」を練り込んだウドンと、のらぼう菜から生まれた新品種「かわさきつや菜」を練り込んだソウメンを乾麺として商品化し、セレサモス麻生店・宮前店で販売を始めました。

そ菜部菅支部では「のらぼう菜」の認知度の向上と、収穫時に廃棄される外葉の有効利用を目的に商品化を進め、ペーストを練りこんだ乾麺の開発に行き着きました。パッケージデザインは菅中美術部に昨年に依頼、当時3年生だった大野鈴さんの作品がウドン、安藤愛菜さんの作品がソウメンに採用されました。

かわさきつや菜
そうめん
菅の のらぼう
うどん

小嶋支部長は「のらぼう菜の普及に尽力し一昨年に88歳で亡くなった高橋孝次さんの思いも受け継ぎ商品化しました。この加工品を通じてのらぼう菜を知ってもらえたら」と話し、さらに課題点を改良して、良い商品にしていきたいと話されていました。

多摩区「Team SUGE 地ケアプロジェクト（仮称）」

チームで菅地区の課題を出し合う

川崎市では、子どもから高齢者まで誰もが住みなれた地域で、安心して暮らし続けて行けるように、地ケア（地域包括ケアシステム）を進めています。菅地区においては社会福祉協議会や介護施設、保育園などの団体が参加。菅地区の地域課題や困りごとの解消に向け、多様な団体の連携を図るプロジェクトです。菅町会はこのプロジェクトの推進に当たり、指針を出して協力しています。

6月のキックオフ会に続く第1回会議が7月29日、区役所で行われ、地域の課題を出し合いました。菅地区の活動で、関わる人が何に困っているかの視点で意見をあげ、地図上に貼り付けながら意見交換をしました。次回は秋に現地見学を行い、3カ年計画で2024年に取り組みを実践する予定です。

写真はタウンニュース 社提供

編集後記

11月号の巻頭文は多摩区長の藤井智弘さん、公務ご多忙のところご執筆いただき、有り難うございました。

今年度の町会行事もコロナ禍で自粛状態でしたが、そろそろ復活の兆しは見えてきたようです。感染対策を考慮しての合同防災訓練、女性部主催の2つの講習会を記事にすることができました。地域の子ども会主催の盆踊り大会や、代替のお祭りも開催されました。

「菅ばなし・5」は菅の稲作を支えた大丸用水の話で、次号が最終回となります。（I・N）

Kukui はり灸整骨院 登戸院
平日 9:00~20:00 土日祝 9:00~17:00
多摩区全域に出張マッサージも行っております
044-819-6275（予約優先制）
▼HPはこちら
川崎市多摩区登戸3414-2 DESIRE登戸6F-A

"保険は地元のプロが一番"
保険相談センター
株式会社ベスト
＊自動車保険　＊火災保険　＊傷害保険
＊ガン保険　＊医療保険　＊生命保険
SOMPO 損保ジャパン SOMPOひまわり生命
一生涯のパートナー 第一生命 Dai-ichi Life Group
保険ベスト 多摩区 検索
☎949-3775
菅北浦2-15-26